



一般社団法人
うるわしの桜井をつくる会
〒633-0091 奈良県桜井市
桜井1259エルトさくら内
TEL&FAX:0744-47-3981
URL: <http://lets.some.jp>
E-mail:lets@some.jp

平成25年10月

うるわし通信

産廃の埋め立て操業は終了します

市内の高田産業廃棄物最終処分場が12月に処分量も高さも、制限の限界に達し操業を終了することとなりました。平成2年に始まり、足がけ24年間にわたって、地元住民を困惑の渦にまき込んできた「サンパイ」の操業は、ひとまず失くなることになったのです。

本会はこの操業に反対し、中止を訴え続けた「桜井の環境をまもる会」が母体の一つです。この運動に邁進し、終始献身的に推進された野村味生さんは、現在、病篤く。芝房治さんは、既にこの世の人ではありません。お二人の後を引き継ぐことになった本会ですが、はたして如何ほどの貢献ができたか、顧みて本当に恥ずかしく思っています。

「桜井の環境をまもる会」と、それを引き継いだ本会の産廃部会は、まず環境破壊について市民に訴えました。歴史と景観は桜井市の有形無形の宝の筈です。反対の声にもかかわらず景観は目に見えて侵されました。市内から望見し得る周辺の山地は、古来「小倉山」と呼ばれ、記紀万葉に登場する地帯です。

観光的には、聖林寺は「国宝十一面観音像」を祀る、市内屈指の観光名所ですが、そこに「サンパイ」の悪臭がおし寄せてきても、行政も、観光協会も対抗策を講じ得ませんでした。

環境破壊は目に見える問題だけをいっているのではありません。汚染される水源・地下水脈が農業や食文化へ及ぼす影響、住民への健康被害が懸念されました。市民運動としては操業中止を求める1万人の署名を集め、市に提出しましたが、市はこれに応えることはありませんでした。市民の声を無視した市の姿勢は改めて問いただされねばなりません。

そこで、もっぱら監督指導権を持つ県行政に要求を貫くという形になりました。その中では違反操業の摘発と、それによる操業中止命令が期待されました。これは許可以外の物を埋めているのではないかと、ボーリング調査を求めましたが、県はなんらかの手を打つ気配は全くありませんでした。



小倉山にあらわれた産廃処分場

認可事業は成立すれば、行政は業者の申告を無批判に受け入れるということが判りました。これらは住民が肌で学びとったことでした。健康調査は為され、悪臭は確認されましたが、直接の因果関係は不明との結果でした。わたしたちは、将来にわたって人体の蒙る悪影響を危惧しているのです。

行政と住民・産業と生活、この相反する観点と無関心の層の厚さが判ったことだけが運動の成果だったのでしょうか。反面教師を得たことが成果なののでしょうか、とりあえず報告しておきます。

文責：浅川 肇

下区長: 梶田 進可さんとの対談

インタビュアー 浅川 肇

浅川 産廃処分場を抱える下区長というのは大変な役割でしょう？

梶田 若い時から区長になるとは夢にも思いませんでした。区長になって長年、地元を悩ませ続けた産廃について及ばずながら発言したいと区民に約束しました。

浅川 地元の悩みや反対意見が全市民に伝わってないようなにも思えるのですが？

梶田 もっとアナウンスしなければならないのに口止め工作があった。など区長になって知り驚いています。臭いものに蓋をするやり方は良くないですよ。水が濁っても、泡が噴き出しても誰も言わない。もっとオープンにしなければ……
水と空気の悪化は深刻な問題ですよ。行政は何故隠蔽するのか。

浅川 情報公開はなかったのですか？

梶田 和田県議をわずらわせて始めて県の情報開示があったのは、ほんの数年前のこと
で、それまで、われわれ下区の住民当事者に何も公表して来なかった。
それ以後も抗議しない限り、県は積極的調査はしません。

浅川 抗議活動もされたようですが？

梶田 県は無関心でした。平成24年4月24日に県と市と下区と業者の4者立会いのもと、公認測量会社によって測量の結果、その時、既に高さは制限の299.5mを超えていたのですよ。

浅川 今後については？

梶田 産廃問題はこれで終了したわけではありません。水質が正常に戻った時に終結となりますが、それは何年先のことか？
協定書を結び直す必要があります。県も市も、住民と業者のどちらへ顔を向けているのか、住民は非常に不満に思っていますよ。中間処理施設も不安です。とにかくオープンに資料を持ち寄り議論すべきです。

浅川 行政へ望むことは？

梶田 問題を未然に防ぐ手だてを考えてほしい。問題が起こってからは警察の分野だと思います。行政は責任をしっかりとってほしい。



国宝「十一面観音像」を祀る

聖林寺 倉本明佳 住職のお話し

要約責任 浅川 肇

- やっと終わったかという感想です。
- 谷を山にしてしまった。人為的にこんなに自然を変えて良いものでしょうか……
- 聖林寺の裏の谷に大きな良い石が豊富にあり、それでこの寺の地蔵さんを作ったのは270年ほど前の享保年間で、当時の文春(もんしゅん)和上が安産守護として祀った。昔は難産で死ぬ人が多かったのです。造ったのは但馬の佐助という石工さんで、驚くほど大きな地蔵尊です。この名石を産出した谷が産廃の山となり、二度と石は取れなくなりました。
- 最初に母(悠知法尼)が臭気に気づき、父(弘玄和上)と現場に行くと野犬に襲われました。
- 当時の区長も死んで、どういう約束で始まったのか不明です。バブル崩壊後で良い金儲けということだったのででしょうか。
- 父は寺の将来が心配だと市長や県や警察にかけ合い、随分訴えましたが、怖い思いもしたと言っていました。
- 仏様には毎朝、お水をお供えしますが、いまでは、この土地の自然水をお供えすることはできません。この村の井戸は飲用水ではなくなりました。
- 県外から多くの参詣者がお越しになりますが、この近くに温泉があるのかと訊ねられました。臭気は産廃によるものと説明するのは本当に辛い思いでした。
- 臭気については、子どもを外で遊ばせる気にもなりません。頭痛のする臭いです。
- 村の子は学校へは自転車通学がほとんどで、ダンパーカーの往来で、危ない思いをしたのです。
- 当初、反対者がいなかったのは不思議です。
- 今後も県は監視を緩めないで下さい。
臭気を失くすことを考えて下さい。



子安延命地蔵



十一面観音

事務局だより

- 10月の常任理事会は10月19日（土）午後1時30分より「市民活動交流拠点」（まほろばセンター第1研修室）で行います。

お知らせ

- 図書館友の会の10月読書会は「魂込め(まぶいぐみ)：目取真 俊著」です。

日時 10月22日(火)午後1時30分から

場所 まほろばセンター第1研修室

友の会会員以外の参加も歓迎します。

問い合わせ先

浅川肇：090-1961-6345

- 講演会「額田王と桜井」 講師：高城修三さん(芥川賞作家)

日時 10月20日(日)午後2時から

場所 桜井市立図書館 研修室1 参加無料

主催 うるわしの桜井をつくる会

後援 桜井・記紀万葉プロジェクト推進協議会

問合せ うるわしの桜井をつくる会：0744-47-3981

*この事業は桜井市民協働推進補助金の交付を受けて実施します。



- 報恩寺秘蔵「地獄絵図掛軸」修復記念展示会 地獄絵図全10幅

江戸時代からの永きに渡る眠りから覚めた地獄絵図、地獄の番人が支配するおどろおどろしい世界。これらは、現代を生きる私たちへの生き方に対する警告なのかもしれません…

なお、報恩寺の阿弥陀如来像が今年3月に県指定文化財に指定され、現在地元で本格的な修理を行う計画が進められています。

日時 10月22日(火)～10月31日(木)

午前10時～午後4時

場所 桜井市外山宗像会館2F 拝観無料

主催 外山区

協力 大師講

問合せ 宗像会館：0744-49-2221



地獄絵図



阿弥陀如来像

編集後記 「産業廃棄物」について、地元及び周辺地域は将来にわたる深刻な問題を負わせ続けられています。最初に公聴会は開かれなかったのか。開かれたとしても桜井市民は言論よりも権力の力を怖れたのか。とすれば桜井の民主主義は未熟だったというほかはありません。標高299.5mの制限は妥当であったのか。因みに古来、大和三山と謳われた畝傍・耳成・香久山の中で最高の畝傍山は199mです。年内に産廃部会を開き、残された課題について話し合いたいと思います。 (あさ)

うるわし通信編集責任者
〒633-0091
桜井市桜井142-5-203
浅川 肇
TEL090-1961-6345